

(評価資料1)

評価項目	1 機関の運営方針・研究推進計画に関すること
当センターの状況	<p>(1) 県の政策・施策推進と業務運営方針の整合性、妥当性 本県では、平成31年3月に策定した県の総合計画「いわて県民計画(2019～2028)」のもと、県民一人ひとりの視点に立ち、より人々の暮らしや仕事を起点とする政策を展開し、岩手が、全ての岩手県民と、岩手に関わる全ての人を幸福にできる県になることを目指すことにより、基本目標に掲げる「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向け取組を進めている。</p> <p>当センターでは、組織の役割や取り巻く環境の変化を見直して毎年度の業務方針に反映しており、東日本大震災津波からの復興の推進や原発放射線測定に関する業務を優先し、次の業務に重点的に取り組んでいる。</p> <p>ア 健康と環境に関する危機管理への迅速・的確な対応 イ 県民の健康と環境を守るための試験検査・監視測定の実施 ウ 関係各課、振興局、保健所等関係機関、市町村、大学等との連携による行政課題に対応した調査研究の実施 エ 保有する資源やデータを活用した技術支援、情報発信、研修指導の実施</p> <p>(2) 県の政策・施策と研究推進計画の整合性、妥当性 いわて県民計画(2019～2028)の「県民一人ひとりがお互いに支え合いながら幸福を追求することができる地域社会を実現するための10の政策分野」のうち、当センターの役割に関わる「健康・余暇」、「安全」及び「自然環境」の3つの政策の実現に寄与する試験研究を行っている。</p> <p>研究と県施策の関連付けについては、新規研究計画ヒアリング時に確認及び検討を行っている。</p> <p>(3) 研究への県民、企業等のニーズの反映状況 センター研究推進実施要領により、行政関係には文書で、県民にはホームページを利用して毎年研究課題の公募を行い、県民ニーズの把握等に努めている。</p> <p>平成29年度から令和元年度の要望については、1件を研究課題として採用している。</p>
評価結果	<p>○ 評価 A：適当(6人)・B：要改善(0人)・C：不適當(0人)</p> <p>○ 評価コメント</p> <p>(1) 県の政策・施策推進と業務運営方針の整合性、妥当性 ・ 「希望郷いわて」の実現に向け堅実に取り組んでいる。 ・ 県の政策・施策に沿い、かつ臨機応変な業務運営がなされている。</p> <p>(2) 県の政策・施策と研究推進計画の整合性、妥当性 ・ 県の政策・施策と計画との整合性を認める。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「健康・余暇」、「安全」、「自然環境」の分野で先進的な研究に意欲的に取り組んでいる。 ・ 県の政策・施策の内、センターの役割に寄与する研究が適切に推進されている。 <p>(3) 研究への県民、企業等のニーズの反映状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部募集等で課題を抽出し、実施している。 ・ 研究公募・ホームページの充実によりニーズ反映の努力をしている。 ・ 文書、HP を通じ、県民ニーズの反映に努めている。
<p>センターの対応方針</p>	<p>センターの業務運営及び研究実施に当たっては、今後とも東日本大震災津波からの復興の推進をはじめ、県の政策、施策に寄与するよう進めていく。</p> <p>また、引き続き幅広くニーズの把握に努め、「県民本位」の視点に基づき、県民や関係機関等のニーズを的確に反映した研究課題を設定していく。</p>